

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

第97回全国高校野球選手権

和歌山大会

春季大会で4強入りし、シード権を得た智弁和歌山、日高中津、田辺、紀北工業は、AとDゾーンに振り分けられた。4校の対戦は準々決勝までではない。

第97回全国高校野球選手権和歌山大会の組み合わせ抽選会が20日、和歌山市内であった。甲子園を目指す大会は7月9日から、和歌山市の紀三井球場で始まる。

初戦で田辺と熊野 組み合わせ決まる

龍神は11日第2試合で和歌山商業と対戦する。

春季大会で準優勝した日高中津と新人戦優勝の初芝橋本が対戦するほか、シードの紀北工業と一昨年に夏を制した箕島が当たる。初戦から好力シードがある。

Table of tournament schedule with columns for teams (e.g., 山川島, 紀北工業, 智弁和歌山) and match times (e.g., 11日 13:30, 20日 10:00).

は春季大会ベスト4で大会シード校

紀南10校 主将の話

順不同、敬称略

切畑屋幸史朗(近大新宮) 波に乗れば、どこにも負けないチームだ。創部10周年という節目の年に、甲子園への切符をもち取りたい。

伊永洋平(新宮) 桐蔭は力があるが、胸を借りて、絶対に出たい。

出羽遼大(田辺) 一人一人が役割を自覚し、初戦から丁寧なプレーを心掛ける。

久堀一(南部) チームは一つにまとまってきた。初戦の耐久の宮下隼一監督は、南部の前監督で、指導も受けた。その意味でも絶対に負けられない。

始球式に水永君(神島)

予定通り進行すれば、準決勝は23日、決勝は24日。

水永君は同校少林寺拳法部の男子主将。部は3月にあった全国大会で優勝している。

玉井俊希(南部龍神) 初戦の和歌山商は練習試合で対戦し、長所短所を知り尽くしている。自分たちの野球ができれば大丈夫。甲子園出場を目指して勝ち抜く。

洪谷昌樹(神島) 比較的良好ゾーンに入っている。一戦一戦を全力で戦い、上へ行きたい。

県高野連は、開幕試合(9日午後1時半)の始球式を神島3年の水永君が務めると明らかにした。

荒深武史(熊野) 田辺との対戦は紀南同士といふこともあって、気持ちが高ぶっている。絶対に初戦を勝ってベスト4まで残り、監督を男にしたい。

舟崎浩也(新翔) 紀北農芸とは一度も対戦したことがないけれど、チーム一丸となって戦えば勝てるはず。しっかり準備して全力でぶつかりたい。